

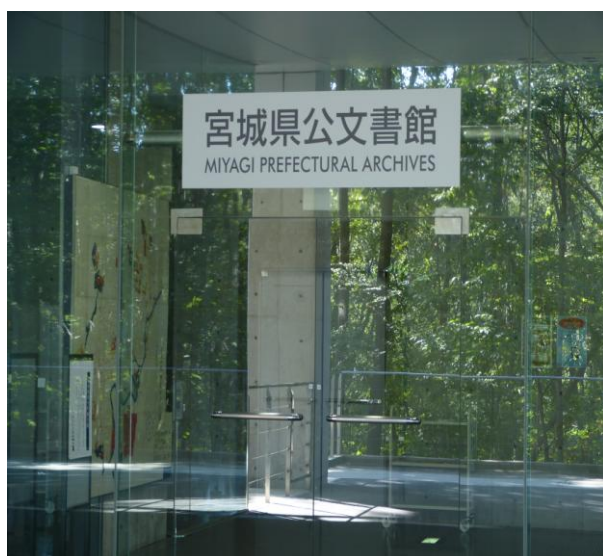
宮城県公文書館年報

第12号

平成24年度



旧公文書館



新公文書館
(宮城県図書館2階西側)

宮城県公文書館

Miyagi Prefectural Archives

目次

I 公文書館の概要

- 1 設置目的 1
- 2 業務内容 1
- 3 沿革 1
- 4 組織 2
- 5 予算 2
- 6 施設・設備（旧） 2 ～ 4

II 平成24年度事業の概要

- 1 資料の選定・収蔵 5
- 2 簿冊・絵図面の内容調査 5
- 3 閲覧台帳等の整備 6
- 4 書庫特別整理 6
- 5 保存対策 6
- 6 利用状況 7
- 7 広報普及 8
- 8 平成24年度特記事項 8～9

III 平成25年度事業計画 9～10

IV 新公文書館の概要 10～14

I 公文書館の概要

1 設置目的

宮城県公文書館は、「公文書館条例」（平成12年宮城県条例第132号）に基づいて設置された施設であり、歴史資料として重要な公文書等を保存し、県民共有の文化遺産として後世に伝えるとともに、閲覧、複写その他の利用に供することを目的とする。

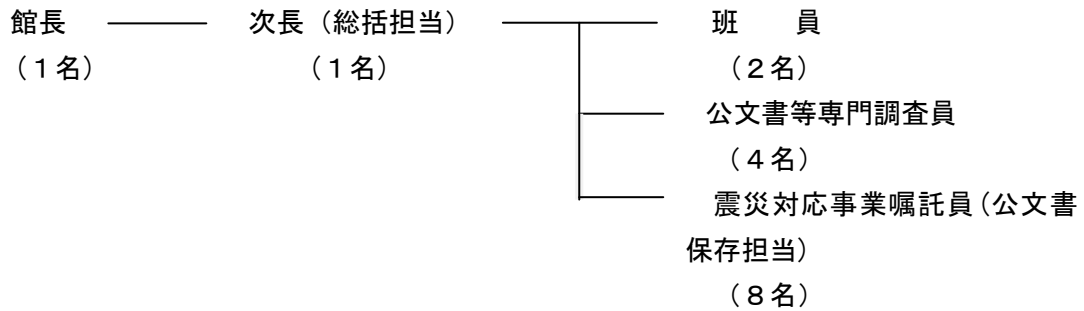
2 業務内容

- 公文書館の主な業務は、次のとおりである。（宮城県公文書館条例施行規則第2条）
- (1) 歴史的価値を有する公文書その他の記録（以下「公文書等」という。）の保存に関すること。
 - (2) 公文書等の閲覧その他の利用に関すること。
 - (3) 公文書等の調査研究に関すること。
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、公文書館の設置の目的を達成するために必要な事業

3 沿革

昭和63年6月	公文書館法施行
平成元年度～	保存期間満了文書の中から歴史的・文化的価値の高い公文書の選別・収集・保存を開始
元年11月～2年3月	宮城県公文書館構想庁内ワーキンググループ設置
2年10月～3年3月	宮城県公文書館（仮称）建設検討委員会及び建設検討ワーキンググループ設置
3年7月～4年3月	宮城県公文書館（仮称）建設懇話会を設置（有識者7名）
4年3月	宮城県公文書館（仮称）建設懇話会から知事へ公文書館建設について提言
4年10月～5年3月	宮城県総合情報センター・公文書館（仮称）建設基本構想を策定
5年4月	他施設（国際交流プラザ）との併設を検討
9年7月	新図書館建設による旧図書館利活用庁内ワーキンググループ設置
11年1月	公文書館建設基本構想（平成5年3月）を断念し、旧図書館の活用を決定
13年4月1日	宮城県公文書館条例・同条例施行規則施行
13年4月21日	宮城県公文書館開館
14年6月	第14回都道府県・政令指定都市等公文書館長会議を当館で開催（国立公文書館主催）
15年11月	第29回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会（同協議会・宮城県主催）開催
23年2月	宮城県図書館への移転に係る施設改修経費が2月議会で議決
23年3月11日	東日本大震災による被害甚大
24年8月～10月	東日本大震災復旧工事
24年12月	宮城県図書館改修（新公文書館）工事竣工
25年1月～3月	宮城県図書館（新公文書館）へ移転（平成25年4月2日移転後の開館）

4 組織（平成25年3月31日現在）



5 予算 平成25年度当初（括弧内は平成24年度末）

資料保存事業費	18,251千円	(18,156千円)
庁舎管理経費	20,594千円	(21,663千円)
管理事務費(緊急雇用)	17,354千円	(16,979千円)
合計	56,199千円	

6 施設・設備

(1) 施設

イ 名称	宮城県公文書館	
ロ 所在地	仙台市宮城野区榴岡5番地	
ハ 施設の形態	みやぎNPOプラザ・みやぎ婦人会館との複合施設	
ニ 敷地面積	4,942.78㎡	
ホ 構造	本館鉄筋コンクリート造り地下1階地上3階建て 書庫棟〃地上3階建て（5層式）	
ヘ 建築年月日	本館昭和42年11月30日建築 書庫棟昭和58年7月20日建築	
ト 建築面積	本館 1,153.39㎡	書庫棟 246.35㎡
チ 延べ床面積	5,221.80㎡（本館4,040.70㎡，書庫棟1,181.10㎡）	
リ 施設別面積	公文書館 2,148.134㎡	みやぎNPOプラザ 1,261.561㎡
	みやぎ婦人会館 479.163㎡	共用スペース 1,332.942㎡

又 公文書館専用部分内訳

2 階		3 階		積層書庫	
室名	面積	室名	面積	室名	面積
事務室及び閲覧室	378.450㎡	展示室 書庫	151.650㎡ 212.131㎡	2 層	229.092㎡
公文書調査室	75.600㎡			3 層	234.942㎡
荷解選別補修室	175.623㎡			4 層	229.092㎡
書庫	232.462㎡			5 層	229.092㎡
計	862.135㎡	計	363.781㎡	計	922.218㎡

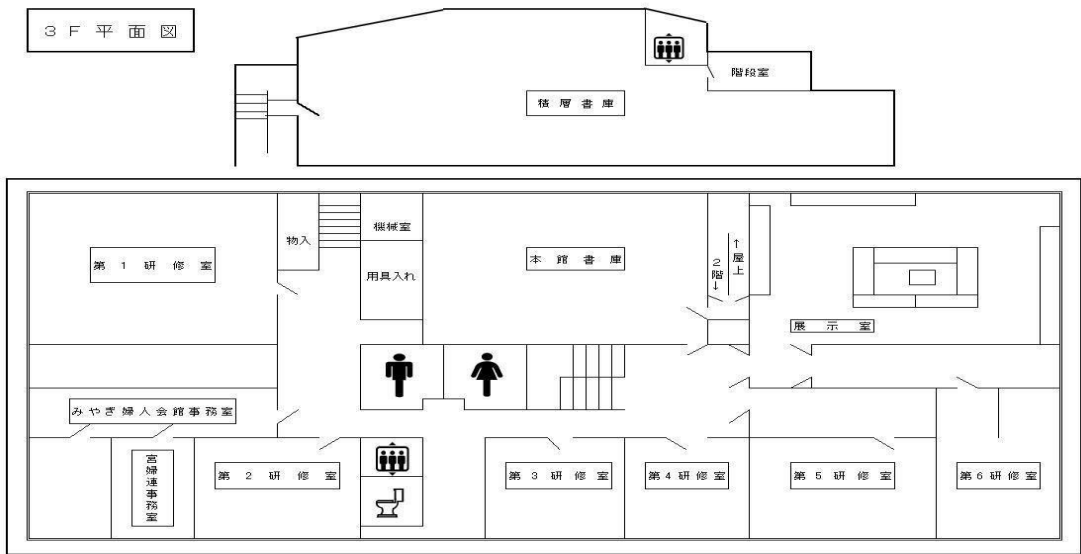
(2) 設備

・昇降機設備	2台
・閲覧用テーブル	9卓(幅120×奥行き75×高さ70)
	2卓(幅225×奥行き90×高さ75)
・展示ケース(固定式)	3面
・〃(移動式)	4台(幅200×奥行き94×高さ80)
・マイクロフィルムリーダープリンタ	1台
・デジタルブックコピー	1台

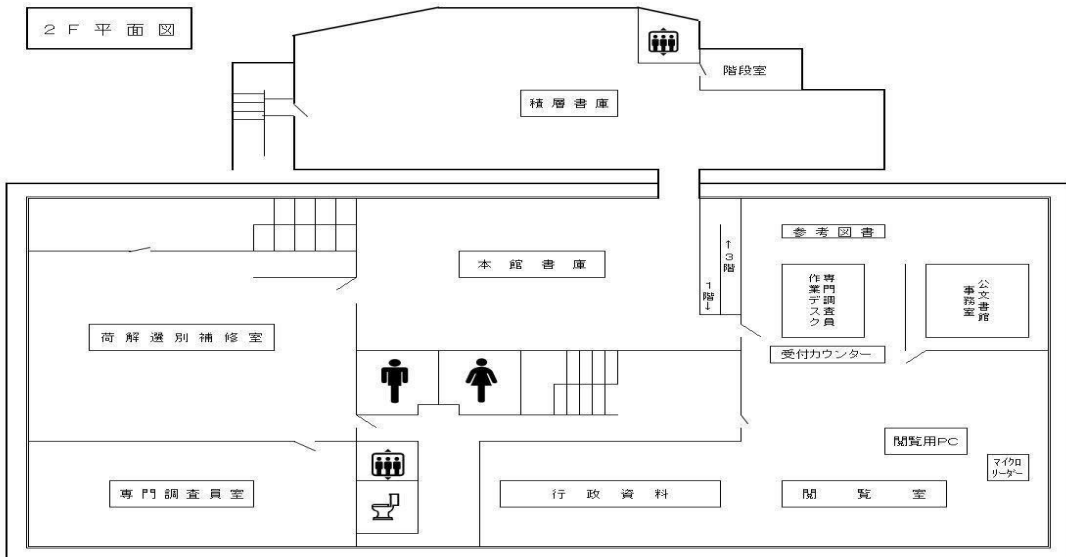
(3) 大規模修繕関係

・耐震改修	計180,248千円
ア 平成10年度 耐震診断	4,284千円
イ 平成11年度 耐震補強・改修設計	9,870千円
ウ 平成12年度 耐震補強・改修工事	166,094千円
・アスベスト除去工事 平成18年度	1,575千円
・空調設備改修工事 平成19年度	23,980千円
・電気設備改修工事 平成20年度	3,412千円
・外壁及び内壁修繕工事 平成20年度	5,833千円
・内部等改修工事 平成21年度	13,683千円
・電気設備等改修工事 平成22年度	17,773千円
・消防設備改修工事 平成24年度	14,437千円
・災害復旧工事 平成24年度	17,150千円

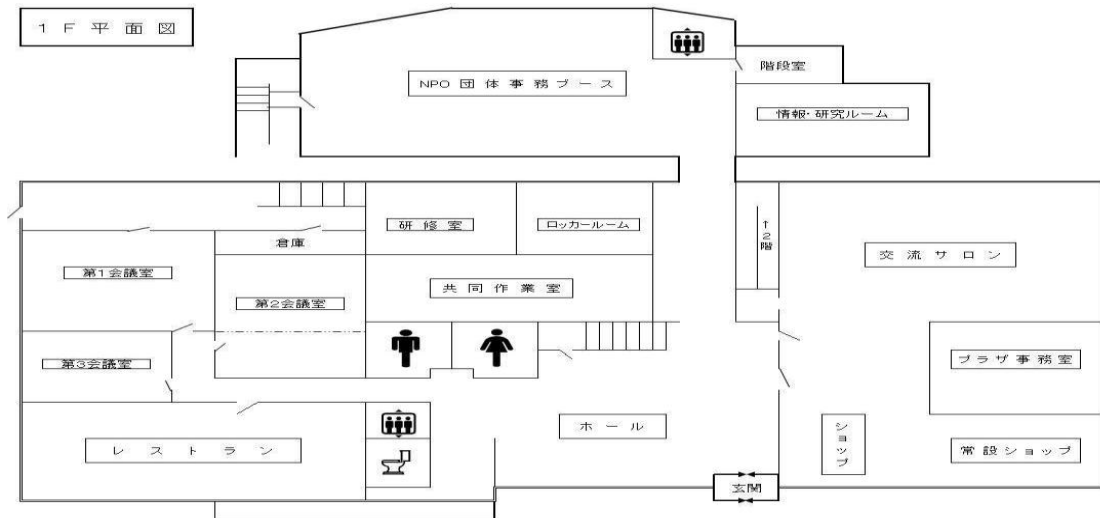
3 F 平面図



2 F 平面図



1 F 平面図



II 平成24年度事業の概要

1 資料の選定・収蔵

保存期間の満了した公文書の中から、歴史的価値を有する公文書を選定し、収蔵した。

(H25. 3. 31現在)

区 分		平成23年度末 所 蔵 数 (a)	年 号 ・ 年 度 区 分 訂 正 (b)	平成24年度 収 蔵 数 (c)	平成24年度末 所 蔵 数 (a+b+c)	備 考
公 文 書	明治期公文書	3,671	0	0	3,671	
	大正期公文書	1,692	0	0	1,692	
	昭和期公文書	25,011	0	461	25,472	
	平成期公文書	4,710	0	202	4,912	
	計	35,084	0	663	35,747	
絵 図 面		1,565	0	0	1,565	
行政資料等		6,469	0	1,699	8,168	
合 計		43,118	0	2,362	45,480	

2 簿冊・絵図面の内容調査

(1) 簿冊及び絵図面のタイトル、作成年度、記載内容、公開・非公開区分、破損状況、補修要否などを調査した。

(平成25年3月末現在)

区 分	平成23年度末 調査済数	平成24年度中 調査数	平成24年度末 調査済数	備 考
簿 冊	28,720	560	29,280	昭和56年度まで
絵 図 面	1,565	0	1,565	
合 計	30,285	560	30,845	

(2) 利用制限基準の改定(平成21年度改定)に伴う公開の可否及び利用制限期間について、再調査した。

なお、平成23年度は東日本大震災により落下して破損した簿冊の修復を優先したため、実施しなかった。

区 分	明治期公文書	大正期公文書	昭和期公文書 昭和51年度まで	合 計
対 象 簿 冊 数	3,671	1,692	20,889	26,252
平成22年度末 再 調 査 済 数	542	309	598	1,449
平成24年度 再 調 査 済 数	137	0	178	315
残	2,992	1,383	20,113	24,488

3 閲覧台帳等の整備

完結後30年以上経過したすべての所蔵資料名と内容調査が終了した資料の調査結果のデータについて、収蔵資料等検索システムに入力するとともに、年度別及び分類別の閲覧台帳を作成し、窓口に備え付けた。

4 書庫特別整理

平成24年10月1日から31日まで、移転前の書庫特別整理として、リストに基づいて簿冊及び絵図面の配架場所や収納場所などを確認し、移転後の新書架への配架順に資料の移動を行った。また、引越による移動に耐えられるように補修及び養生を施した。

5 保存対策

(1) 補修

簿冊の内容調査に合わせて、ホチキス、クリップ等金具の除去と紙縫による綴じ直し、破れている綴じ穴の和紙による裏打ち補修、セロテープ貼り写真の糊による貼り直し、及び「まくら」をはずして綴じ直すなどの補修を行った。内容調査時以外においても、破損を発見した際には補修を行った。また、書庫特別整理期間中においても整理を行った。

(平成25年3月末現在)

平成24年度 修復簿冊数	明治期公文書	大正期公文書	昭和期公文書	平成期公文書	合計
	228冊	118冊	210冊	35冊	591冊

(2) マイクロフィルム化・複製化状況

(平成25年3月末現在)

区分		平成23年度末 収蔵数 a	平成24年度 作成数 b	平成24年度末 収蔵数 a+b	備考
マ イ ク ロ	公文書	405巻	4巻	409巻	409冊分
	行政資料等	151巻	0巻	151巻	151冊分
	計	556巻	4巻	560巻	
口	絵図面等	5,762コマ	0コマ	5,762コマ	1,527点分
複製	絵図面	1,069枚	107枚	1,176枚	

(3) 資料のデジタル化

こんにやく版や湿式コピー文書等、褪色の可能性のある文書を含む簿冊一覧から台帳を作成し、デジタルカメラで撮影し、デジタルデータをHDDに保存した。

(平成25年3月末現在)

区分	明治期公文書	大正期公文書	昭和期公文書	合計
平成23年度末	304冊	0冊	0冊	304冊
平成24年度	351冊	222冊	0冊	573冊
平成24年度末	655冊	222冊	0冊	877冊

(4) 書庫のくん蒸

毒性が弱いとされる薬剤ミラクス S (ピレスロイド系フェノトリン) を使用し、移転後の新書庫において、平成 25 年度に実施する。

6 利用状況

完結後 30 年以上経過した文書を、個人情報等に配慮しながら、閲覧や複写サービスの提供に努めた。

なお、平成 24 年 10 月 1 日から、移転対応のため、休館とした。

(1) 来館による利用状況

(平成 25 年 3 月末現在)

区 分	閲覧室利用者数 a	資料閲覧利用冊数	複写申請件数	展示室入者数 b ※	入館者数合計 a + b
4 月	50	105	16	0	50
5 月	42	210	25	0	42
6 月	50	336	27	0	50
7 月	93	426	46	0	93
8 月	61	193	31	0	61
9 月	87	306	38	0	87
合 計	383	1,576	183	0	383
1 日平均 (稼働 125 日)	3.06	12.61	1.46	0	3.06

※ 東日本大震災により、展示室が使用できなくなり、常設展等は休止した。

(2) その他の利用状況

(平成 25 年 3 月末現在)

出版物等掲載許可	レファレンス件数		
	メール	メール以外	計
5	34	14	48



検索用パソコン



閲覧室

7 広報普及

歴史資料として重要な公文書等を保存し後世に伝えていくことの必要性等について、県民の理解を得るため、「年報」及び「公文書館だより」を発行し、ホームページに掲載した。

展示会の開催は、東日本震災復旧工事及び移転準備業務等を勘案し、休止した。24年度は、これまでの展示会資料を整理するとともに、宮城県図書館（以下、単に「図書館」という。）へ移転後の平成25年度において展示等の広報活動に速やかに着手できるよう準備を進めた。

広報誌の発行は、次のとおり、ホームページに掲載した。

① 「宮城県公文書館だより」

第21号 平成24年6月1日発行

第22号 平成24年9月3日発行

② 「宮城県公文書館年報」

第14号（平成23年度） 平成24年6月1日発行

8 平成24年度特記事項

(1) 公文書館移転事業

イ 関係機関と連携

移転事業を円滑かつ適切に行うため、次のとおり関係機関と連携を図った。

① 宮城県公文書館移転連絡調整会議

県政情報公開室（主管）、図書館、生涯学習課及び当館で構成し、平成24年2月から平成25年3月まで毎月1回開催された。

② 図書館改修全体工程会議

工事関係者（株菅野宏史建築事務所、赤坂建設(株)、新電気工事(株)、(株)北陵建設及びナショナルエレベーター工業(株)、営繕課、県政情報公開室、図書館及び当館で構成し、平成24年3月から12月まで毎月1回開催された。

ロ 図書館改修工事の竣工

新公文書館への図書館改修工事は、平成24年12月27日に完了検査を終え、その翌日に引渡を受けた。

【新公文書館の概要】

図書館建物内にあり、2階に閲覧室、事務室、調査員室及び公文書調査室を、1階に書庫を配置している。書庫の面積は344㎡であり、ハンドル式移動棚の書架を配置し、内装には、天然木ブナフローリング研磨仕上げの床材、無機質系調湿材の天井材、無機質系調湿材（酸・アルカリ吸着仕上）の壁材を使用している（書庫内装及び書架工事 金剛(株)）。恒温恒湿空調設備2台により、書庫内を温度22度（±2度）、湿度55（±5%）を保つとともに、不活性ガス（IG-541）消火設備を備えている。

ハ 移転作業

① 輸送準備

平成24年10月1日から休館とし、輸送準備を始めた。

なお、通常業務は、移転作業を円滑に行うために年度の前半に行う年間計画を立て、計画的に執行していた。

② 輸送業務

新公文書館への資料の輸送業務（㈱佐川急便に委託）は、4回に分けて、平成25年1月16日から3月13日まで行った。

③ 配架作業

新書庫への資料の搬入・配架作業は、平成25年1月16日から3月12日まで行った。

(2) 公文書館災害復旧工事等

東日本大震災（平成23年3月11日）で被災した建物の災害復旧工事は、平成24年度に繰り越され、平成24年8月から10月まで行われた。

このほか、非常用の発電設備・放送設備を設置するため、消防設備改修工事が平成24年6月から7月まで行われた。

Ⅲ 平成25年度事業計画

1 資料の選定・収蔵

保存期間が満了した公文書の中から、歴史的・文化的価値のある公文書を選定して、収蔵する。

2 所蔵資料の実態把握

レファレンス業務や閲覧申請等への対応がより迅速にできるよう、所蔵資料の収蔵状況及び保存状況を適確に把握する。また、定期的な特別整理を実施する。

3 簿冊・絵図面の内容調査及び簿冊の再調査

簿冊及び絵図面のタイトル、作成年度、記載内容、公開・非公開区分、破損状況、補修要否などを調査する。また利用制限基準の改定に伴い、明治元年～昭和51年度までのすべての簿冊について、新基準に基づき、公開の可否、利用制限期間を再調査する。

4 閲覧台帳等の整備

簿冊の内容調査結果等に基づき、閲覧台帳及び収蔵資料等検索システムのデータ等を整備する。

5 保存対策

- (1) 内容調査時の補修
- (2) 公文書のマイクロフィルム化
- (3) 絵図面のカラー複製化
- (4) 資料のデジタル化
- (5) 書庫のくん蒸
- (6) 書庫特別整理

6 広報普及

広報誌は、「公文書館だより」及び「公文書館年報」を発行し、ホームページに掲載する。

展示は、展示室の使用について図書館と調整し、企画展を開催する。また、展示スペース「温故回廊」において、定期的（1月程度）に展示替えを行い、分かりやすく公文書館を紹介する。

7 震災と公文書保存対応

公文書館としての役割を積極的に果たすため、被災した公文書への対応の在り方について、関係機関と協議する。

8 図書館との連携

移転後は公文書館と図書館が併置され、同じ建物内に2つの別個の機関が存在することになる。御利用される県民の皆様への利便に配慮し、サービス向上に努めることとし、施設使用のあり方などについて、両者は協議、調整、連携を密にする必要がある。そのため、定期的に打合会議を設ける。

IV 新公文書館の概要

1 施設・設備

(1)所在地	仙台市泉区紫山1-1-1（宮城県図書館内2階西側）		
(2)構造	鉄筋コンクリート造り		
(3)施設別面積	2階	正面玄関	—
		来館者受付窓口	—
		閲覧室・事務室	190.31㎡
		調査室	36.62㎡
	1階	書庫	493.44㎡

2 配置図 別添のとおり

3 写真 別添のとおり

閲覧室



2階公文書館前ロビー

